

～地域コミュニティによる健康安心づくり～

釜石市地域生活応援システム基本計画書

計画期間：平成 19 年度～平成 22 年度

【地域の現状・課題】

人口減少・少子高齢化
家族の支援力・地域で支えあう力の低下
子育てに対する不安
高齢者の生きがいがない。
病院統合 保健福祉の充実

保健、医療、福祉・生涯学習の
連携を強化して解決する必要性

保健・医療・福祉サービスを総合的に調整する機能が必要。
タテワリ的な業務から、地域の状況に合わせた業務を行う仕組みづくりが必要。
健康づくり、地域の支え合いには、地域づくりを進める生涯学習の取り組みが必要。

これまでの取り組み

基本計画原案の策定 (H17.8～)

モデル事業 (唐丹地区 H18.1～)

協働の仕組みづくり/組織体制の検証
唐丹まちづくり検討会/アンケート調査/
訪問活動 ほか

健康まちづくり検討会 (H18.9～10)

市民が地域課題、解決方法、役割分担を
提言 (延 458 名参加)/フォーラム(11/18)

アンケート調査/市政懇談会/講演会

【基本的な考え方】

市内 6 箇所に、「生活応援センター」を設置し、保健師などの職員が常駐します。 栗橋出張所 鶴住居出張所 保健福祉センター
小佐野コミュニティ会館 甲子公民館 唐丹公民館
保健・医療・福祉の相談、事業のほか、公民館活動、出張所の仕事を合わせて行います。
地域とのネットワークをつくり、地域課題の解決に向けて、それぞれの役割を確認しながら、計画づくり、事業の実行、事業評価を繰り返して行う「協働」の取り組みを進めます。

【役割分担】

検討会での提言内容

個人・家庭

家族のコミュニケーション/規則正しい生活/子育ての力/あいさつをかけ合う。
など

地域

交流を活発にする。
人材の発掘 など

行政

情報・場所の提供/
きっかけづくり/
仕組みづくり/
アドバイス/イベントの開催 など

【期待される効果】

1. 地域で安心して暮らせることができる。
2. 地域で健康に過ごすことができる。
3. 地域で自立した生活を送ることができる。
4. 自ら地域・家庭を支える力が生まれる。
5. 生きがいを持って地域で過ごすことができる。
6. 効率・効果的な事業が実施できる。

釜石市民生部健康推進課

026-8686 岩手県釜石市只越町三丁目 9 番 13 号
TEL 0193-22-2111(代)(239) FAX 22-6220
ホームページ <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>

【事業の展開】

心と体の健康度に応じた
健康づくり

健康的な生活習慣づくり

運動栄養教室
介護予防
子どもの健全育成 など

病気の早期発見・対応

健診結果によるフォローアップ など

病気や障害のある人の健康づくり

退院患者のフォローアップ
生活の自立支援 など

地域で支えあう
力の育成

個別サービスの
充実

ネットワークづくり
リーダーづくり
ボランティア育成
世代間交流
子どもの居場所
訪問活動の強化
相談・指導の充実
情報・学習機会の提供

【今後の進め方】

地区別の計画づくり
地区ワークショップ(H19.2～)